

次年度に向けた検討課題について

1. 療育のとりくみを、他の就学前施設と共有していく方法について

(療育に通っている子たちだけでなく、すべての子どもたちの豊かな育ちのために、どのようなことが必要か)

- 研修としてはどのような形が考えられるでしょうか
- 研修のほかにはどのような方法が有効でしょうか

<昨年度いただいたご意見>

- ・療育と保育、お互いのことを知り、学びあう機会
- ・他の職種、他の事業所とともに学びあう研修
- ・年齢ごとの発達の特徴を学ぶ研修
- ・障害特性の理解を深め、医師に伝わりやすい表現で子どものことを伝えられるように
- ・非常勤の職員も受けられる研修
- ・一日の保育の流れを見たうえで、対応を協議するような研修

<取り組んできたこと>

- ・乳幼児教育・保育協働研修でのグループワーク（保育・教育・療育など多分野から参加）
- ・令和6年度 5歳児ごろの発達の学習、令和7年度 0～1歳ごろの発達の学習

2. 宇治市内の療育の質の維持、向上のために

- 横のつながりを深めるための方法（事業所間の連携）
- 縦のつながりを深めるための方法（小学校との連携）

<昨年度いただいたご意見>

- ・宇治市内の事業所の横のつながりを大切にしたい
- ・事業所の連携会議が定期的にあるとよい
- ・連携会議に障害福祉課だけでなく、保育支援課、学校教育課も参加する形が理想
- ・他の事業所の見学
- ・事業所の“通信”的な共有

<取り組んできたこと>

- ・令和7年7月30日児童発達支援事業所会議開催
(障害福祉課主催、学校教育課・保健推進課参加)